

次期東京都がん対策推進計画期間の課題について

	東京都がん対策推進計 (平成 20 年度～24 年度)			東京都がん対策推進計画 (第一次改定) (平成 25 年度～29 年度)			東京都がん対策推進計画 (第二次改定) (平成 30 年度～35 年度)	
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●まず第一に予防を重視します ●高度ながん医療を総合的に展開します ●患者・家族の不安を軽減します ●がん登録やがんの研究を推進します 			<ul style="list-style-type: none"> ●まず第一に予防を重視します ●高度ながん医療を総合的に展開します ●患者・家族の不安を軽減します ●がん登録とがんの研究を推進します 				
目全体	<ul style="list-style-type: none"> ○がんの年齢調整死亡率 (75 歳未満) の 20% 減少 ○すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上 			<ul style="list-style-type: none"> ○がんによる死亡者の減少 (がんの 75 歳未満年齢調整死亡率の 20% 減少) ○すべてのがん患者及びその家族の不安の軽減並びに療養生活の質の向上 ○がんになっても自分らしく生活できる社会の構築 				
分野別施策	分野別取組	施策の方向性	重点施策	分野別取組	施策の方向性	重点施策	分野	取組の例
	①がんの予防と早期発見の推進	がんの予防に関する取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○健康的に生活習慣の普及啓発と生活習慣を改善しやすい環境づくり ○特に未成年に重点をおいた喫煙や受動喫煙の健康影響に関する普及啓発 ○ウイルス肝炎に関する正しい知識の普及啓発と肝炎ウイルス検診の拡充 	①がんの予防の推進	<ul style="list-style-type: none"> 成人の喫煙率減少と効果的な受動喫煙防止対策の推進 ウイルスや細菌の感染に起因するがんの予防 科学的根拠に基づいたがんを遠ざけるための生活習慣に関する取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○喫煙・受動喫煙の健康影響に関する普及啓発を推進 ○禁煙希望者が禁煙しやすいような支援を推進 ○未成年者が喫煙しないよう健康教育を推進 ○非喫煙者がたばこの煙にさらされないための環境整備の推進 ○子育て中の家庭等への受動喫煙防止対策の普及 ○肝炎ウイルスに関する正しい知識の普及啓発、受診促進、肝炎診療ネットワーク体制の充実 ○子宮頸がん予防 (HPV) ワクチン接種とがん検診受診促進の普及啓発の実施 ○科学的根拠に基づくがんを遠ざけるための生活習慣に関する情報提供 ○多様な広報媒体を活用した効果的ながん予防の普及啓発 ○生活習慣を改善しやすい環境づくり 	がんの予防	<ul style="list-style-type: none"> <喫煙対策> <ul style="list-style-type: none"> ○喫煙・受動喫煙の健康影響に関する普及啓発の推進 ○禁煙希望者への禁煙しやすいような支援の推進 ○未成年者が喫煙しないための健康教育の推進 ○受動喫煙防止対策の推進 <ウイルス・細菌感染に起因するがん予防> <ul style="list-style-type: none"> ○肝炎ウイルスに関する正しい知識の普及啓発、受診促進、肝炎診療ネットワーク体制の充実 ○職域における肝炎検査実施体制の充実、正しい知識の普及啓発 ○国の動向を踏まえた感染に起因するがん予防対策 <がんを遠ざけるための生活習慣に関する取組> <ul style="list-style-type: none"> ○科学的根拠に基づくがんを遠ざけるための生活習慣に関する情報提供 ○多様な広報媒体を活用した効果的ながん予防の普及啓発 ○生活習慣を改善しやすい環境づくり
	がん検診の受診率と質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○がん検診の意義や有効性等の周知と広域的な普及啓発 ○都民のがん検診の受診状況や検診内容などについて実態の把握 ○職域と連携し、がん検診を促進するとともに都民ががん検診を受けやすい体制づくりの支援 ○すべての区市町村において、科学的効果が明らかな検診が、国の指針に基づいた対象年齢・受診間隔で実施される。 ○精密検査の必要性に関する知識の普及啓発、区市町村の精密検査結果の把握への支援 	②がんの早期発見の推進	<ul style="list-style-type: none"> がん検診の受診率向上施策の推進 科学的根拠に基づくがん検診の実施と質の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○区市町村が実施するがん検診受診率向上を目指した効果的な取組に対する支援 ○職場における検診の実態把握及び検診しやすい環境整備への支援 ○広域的かつ効果的な普及啓発の推進 ○全区市町村でのがん検診のプロセス指標 (精密検査受診率、精密検査未把握率等) 改善を目指した、区市町村及びがん検診実施機関等への普及啓発及び支援 ○都民のがん検診に関する理解の促進 	がんの早期発見	<ul style="list-style-type: none"> <検診の受診率向上> <ul style="list-style-type: none"> ○区市町村が実施するがん検診受診率向上を目指した効果的な取組に対する支援 (受診率の目標、精密検査受診率の目標、受診率の捉え方) ○区市町村が行うコール・リコールを支援 ○職場における検診の実態把握及び検診しやすい環境整備への支援 ○広域的かつ効果的な普及啓発の推進 <科学的根拠に基づく検診の実施等> <ul style="list-style-type: none"> ○区市町村が実施するがん検診について、科学的根拠に基づく検診実施を徹底 ○全区市町村でのがん検診のプロセス指標 (精密検査受診率、精密検査未把握率等) 改善を目指した、区市町村及びがん検診実施機関等への普及啓発及び支援 ○都民のがん検診に関する理解の促進 ○職域で実施しているがん検診の精度確保 ○上限年齢設定の検討、過剰診断等がん検診の不利益の啓発 	

			③がんを予防するための健康教育の推進	子供や成人に対する健康教育及びがんの予防に関する普及啓発の推進	○地域におけるがん予防のための健康教育に関する事例に収集及び共有 ○地域における家庭・学校・医療機関等と連携した健康教育の推進	予防するための健康教育の推進	<健康教育等> ○地域におけるがん予防のための健康教育に関する事例に収集及び共有 ○学校におけるがん教育の推進(教員研修、リーフレットの活用促進、モデル授業の実施等) ○学校におけるがん教育について、医師やがん経験者等との連携体制の構築	
②高度ながん医療の総合的な展開	がん診療連携拠点病院及び東京都認定がん診療病院の整備と連携体制の構築	○がん診療連携拠点病院及び東京都認定がん診療病院による高度ながん医療の提供 ○がん診療連携拠点病院を中心とした連携体制の構築	④高度ながん医療の総合的な展開	患者・家族が安心できるがん医療提供体制の推進	○チーム医療の推進のための体制の整備 ○都民及び医療関係者への医療提供体制に関する情報の提供	がん医療提供体制	<医療提供体制> ○都におけるがん医療提供体制の考え方の整理 ○拠点病院から地域の医療機関や在宅に患者が安心して移行できる体制づくり ○チーム医療の推進のための体制の整備 ○がんリハビリテーションに関する教育 ○患者が治療内容を理解し、治療方針が決定できるための支援等 ○周術期口腔機能管理の充実 ○都民及び医療関係者への医療提供体制に関する情報の提供	
								集学的治療の推進と人材育成
				<u>がんと診断された時からの切れ目のない緩和ケアの提供</u>	○地域緩和ケア体制の整備 ○緩和ケアの正しい理解のための普及啓発の実施	緩和ケア	<がんと診断された時からの緩和ケアの提供> ○拠点病院等における緩和ケアの取組の充実と質の向上、緩和ケアチームに適切につながる体制づくり、 <u>緩和ケア外来の充実等</u> ○東京都がん診療連携協議会等と連携した地域緩和ケア連携体制の構築 ○地域で緩和ケアを担う医療従事者の緩和ケアに関する質の向上 ○地域病院や在宅支援病院・診療所の医師等も含めた医師緩和ケア研修の修了者の増 ○医師以外の従事者の育成 ○緩和ケアや緩和ケアチーム等に関する普及啓発	
			<u>小児がんに対する総合的な支援体制の構築</u>	○小児がん診療連携体制の整備		小児がんAYA世代の支援体制	<小児がん> ○小児がん医療連携ネットワークによる医療提供体制の強化充実 ○地域の医療機関との連携及び育成、学校関係者等の理解促進 ○長期フォローアップ体制の構築 ○緩和ケアに関する知識・技術の向上と在宅での提供体制の充実<AYA世代のがん> ○小児がん拠点病院等とがん拠点病院等との連携による医療提供体制づくり ○在宅緩和ケアの提供体制の充実	
						高齢者の支援体制	<高齢者のがん> ○認知症を含めた併存症を有するがん患者への地域医療機関等と連携した医療提供 ○在宅でがん患者を介護する介護者への緩和ケアに関する理解促進	

③患者・家族の不安の軽減	がんに関する情報提供の推進・相談支援体制の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○相談支援センターへの支援による相談の質の向上 ○東京都がん患者療養支援事業の成果・検証等を踏まえた相談支援センターと患者等との連携による相談体制の構築に向けた検討 	⑤患者・家族の不安の軽減	がんに関する相談支援・情報提供の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○就労等の社会的な問題への対応を含めた相談支援の機能の強化 ○相談支援における患者団体等との連携の強化 ○がんに関する情報の共有と一元化 	相談支援/情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <相談支援体制> ○がん相談支援センターの周知、患者等が相談センターに繋がる院内体制づくり ○各病院において相談支援センターの機能十分発揮できるための取組 ○患者等の相談ニーズに即した相談支援体制のあり方の検討 ○がん患者の子どもへのケア ○アピアランスケア、グリーフケア <就労支援> ○治療と仕事の両立に向けた理解促進と環境づくりの促進 ○関係団体が連携した就職・就労継続支援 ○会社等の近くで治療が可能な体制づくり ○介護する家族の就労継続支援 	
	治療の初期段階からの緩和ケアの実施	<ul style="list-style-type: none"> ○緩和ケアに関する医療従事者の育成 ○都民への緩和に関する知識の普及 						
	在宅医療体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○病院、在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション、薬局や介護事業者等による地域連携の推進 ○がん診療連携拠点病院を中心とした地域連携の推進による在宅における緩和ケアの提供体制の整備 						
				小児がん患者・家族に対する相談支援体制の整備	○小児がん診療連携体制を活用した相談支援の実施	小児がん患者・家族、AYA世代・高齢者のがん患者等に対する相談支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <小児がん・AYA世代のがん患者等への支援> ○小児がん患者の教育機会の確保、復学、進学支援 ○就労支援、自立支援 ○AYA世代等の単身者の生活支援、介護支援 ○家族や小児がん患者の兄弟姉妹の不安軽減 ○妊孕性温存の支援 <高齢者のがん患者等への支援> ○身近な場所での相談支援体制の確保 	
④がん登録と研究の推進	がん登録の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○3つのステップによるがん登録の推進 ○院内がん登録データの制度向上と収集体制の整備への支援 ○がん診療連携拠点病院等以外の医療機関における院内がん登録実施への支援 ○都民や医療機関へのがん登録の周知 	⑥がん登録と研究の推進	がん登録の更なる推進	<ul style="list-style-type: none"> ○院内がん登録室による質の高い院内がん登録実施のための支援体制の整備 ○地域がん登録の質の向上及び医療機関や都民の理解促進 ○がん登録集計データの分析の実施 	がん登録	<ul style="list-style-type: none"> ○院内がん登録の質の向上のための支援及び都民等への情報提供 ○全国がん登録・地域がん登録の質の向上と医療機関・都民等の理解促進 ○がん登録集計データの分析の実施 	
	がんに関する調査・研究の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○東京都におけるがん対策に資する調査の推進 ○早期診断法の確立、治療方法等の開発に向けた研究の推進 		がんに関する研究の推進	○都医学研におけるがんに関する各種連携研究の推進		がん研究	○がん総合的高次研究（特別研究）の成果を総括しつつ、今後の方向性について検討